



本章では、指定等文化財や市域に広く分布している埋蔵文化財、現在把握している未指定文化財、市内を15地区に分けて実施した聞き取り調査「地域の宝さがし」から抽出した「地域資産」について取り上げます。

1 指定等文化財

本市の文化財は、『文化財保護法』及び『岩手県文化財保護条例』、『宮古市文化財保護条例』によって指定及び登録され、下の一覧表のとおり2024（令和6）年3月時点で127件となっています。内訳は、国指定・登録は14件、県指定は12件、市指定は101件と、大多数は市指定の文化財となっています。文化財の種別では、有形文化財が58件と最も多く、次いで民俗文化財35件、記念物34件となっています。なお、文化財6類型のうち無形文化財、文化的景観、伝統的建造物群については、現在のところ指定・選定はありません。

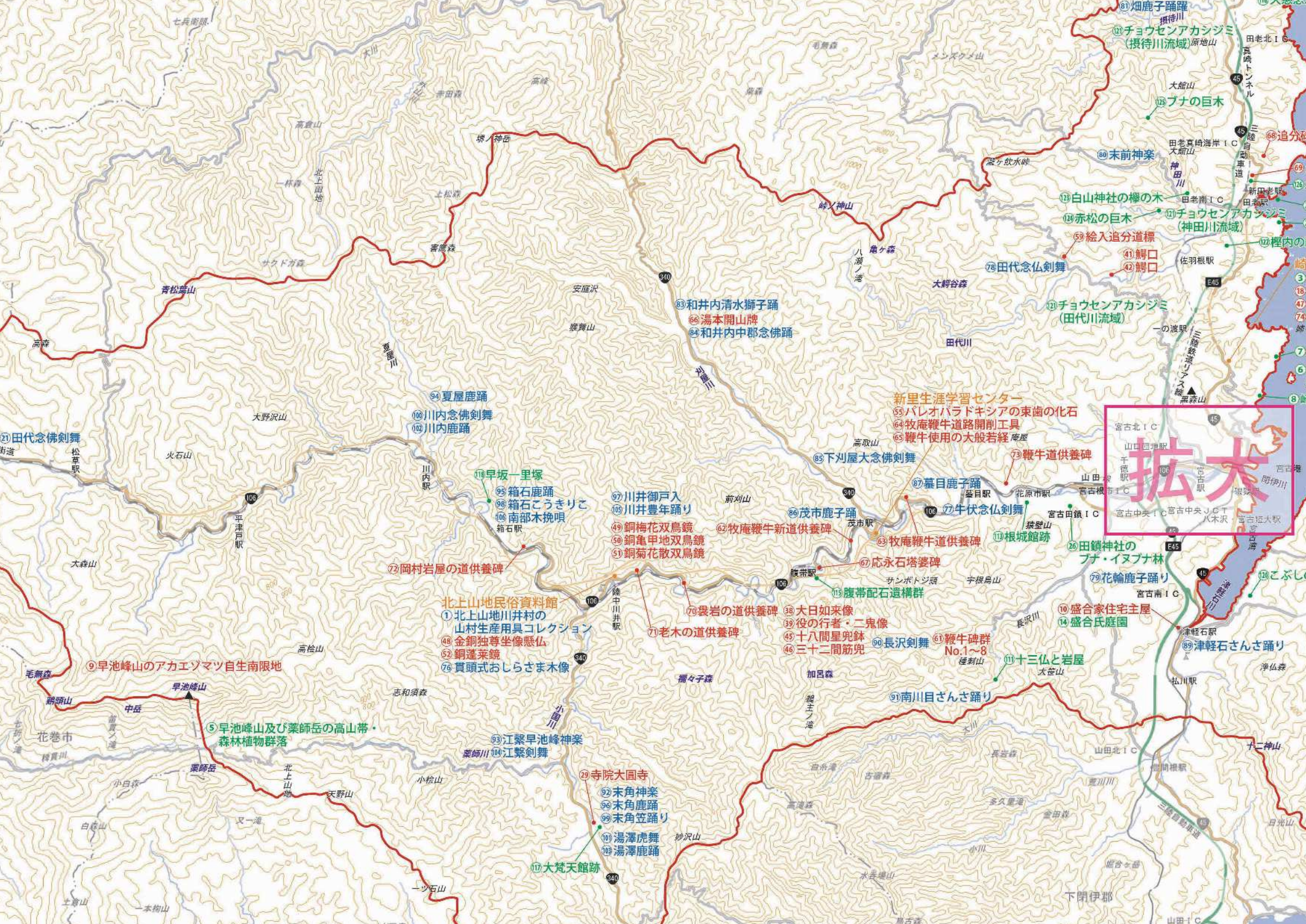
表3-1 指定等文化財件数一覧表

（令和6年3月現在）

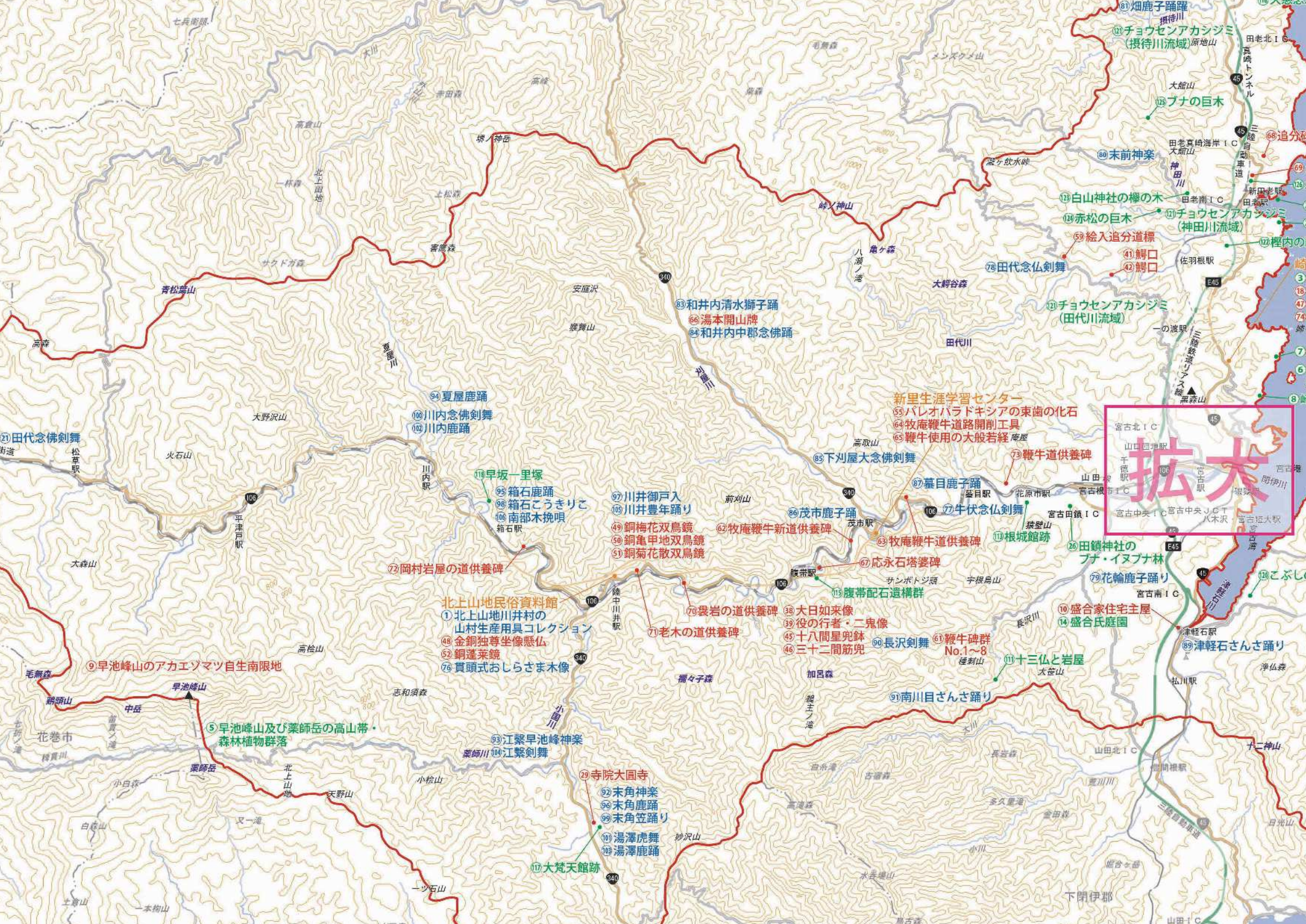
類 型		国指定	県指定	市指定	国登録	合 計	
有形文化財	建造物	0	0	3	4	7	58
	美術工芸品						
	絵画	0	0	1	0	1	
	彫刻	0	2	9	0	11	
	工芸品	0	0	13	0	13	
	書跡・典籍	0	0	0	0	0	
	古文書	0	0	1	0	1	
	考古資料	0	2	2	0	4	
	歴史資料	0	2	19	0	21	
無形文化財		0	0	0	0	0	0
民俗文化財	有形の民俗文化財	1	0	2	0	3	35
	無形の民俗文化財	1	1	30	0	32	
記念物	遺跡	1	1	12	0	14	34
	名勝地	1	1	0	1	3	
	動物・植物・地質鉱物	5（特別1）	3	9	0	17	
文化的景観		0	—	—	—	0	0
伝統的建造物群		0	—	—	—	0	0
合 計		9	12	101	5	127	

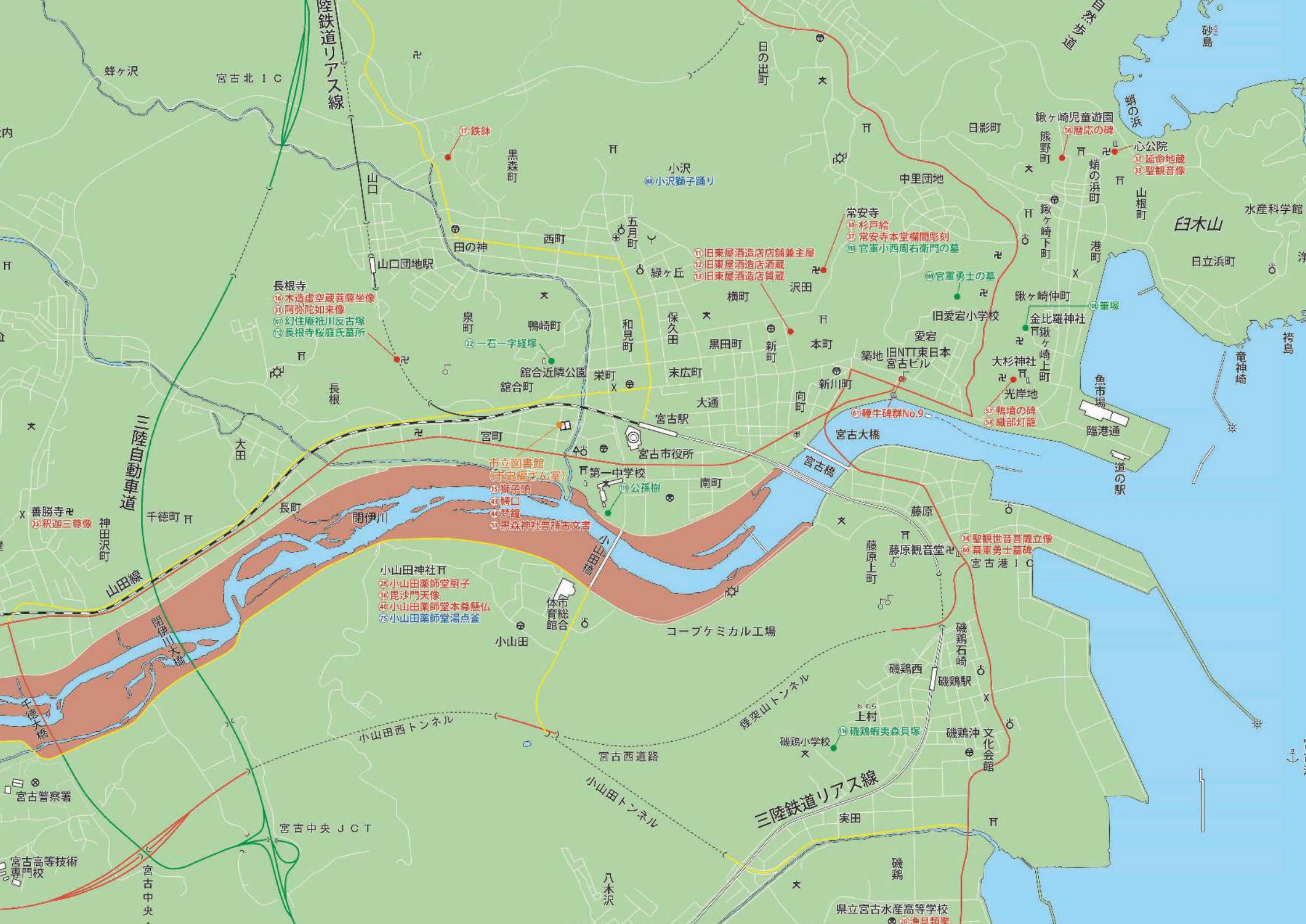
※特別天然記念物「カモンカ」、国指定天然記念物「イヌワシ」は、地域を定めず指定されているため、件数には含めていません。

※「—」は制度を設けていないことを示しています。



拡大





宮古北 I C

陸鉄道リアス線

蜂ヶ沢

日の出町

鉄鉢

黒森町

小沢

小沢獅子踊り

日影町

中里団地

鍛ヶ崎児童遊園

層虎の碑

蛸の浜

心公院

延命地藏

聖観音像

臼木山

水産科学館

日立浜町

袴島

龍神崎

金比羅神社

鍛ヶ崎仲町

大杉神社

光岸地

鶴墳の碑

織部灯籠

魚市場

臨港通

道の駅

常安寺

杉戸絵

常安寺本堂欄間彫刻

官軍小西周右衛門の墓

官軍勇士の墓

旧愛宕小学校

築地

旧NTT東日本

宮古ビル

牛碑群No.9

宮古大橋

宮古橋

藤原

藤原上町

藤原観音堂

聖観世音菩薩立像

幕軍勇士墓碑

宮古港 I C

磯鶏西

磯鶏石崎

磯鶏駅

磯鶏沖

文化会館

磯鶏小学校

磯鶏蝦夷森貝塚

上村

磯鶏西

磯鶏石崎

磯鶏駅

磯鶏沖

文化会館

磯鶏小学校

磯鶏蝦夷森貝塚

上村

磯鶏西

磯鶏石崎

磯鶏駅

磯鶏沖

文化会館

磯鶏小学校

磯鶏蝦夷森貝塚

上村

磯鶏西

磯鶏石崎

磯鶏駅

磯鶏沖

文化会館

磯鶏小学校

磯鶏蝦夷森貝塚

上村

磯鶏西

磯鶏石崎

磯鶏駅

磯鶏沖

文化会館

磯鶏小学校

磯鶏蝦夷森貝塚

上村

磯鶏西

磯鶏石崎

磯鶏駅

磯鶏沖

文化会館

磯鶏小学校

磯鶏蝦夷森貝塚

上村

磯鶏西

磯鶏石崎

磯鶏駅

磯鶏沖

文化会館

磯鶏小学校

磯鶏蝦夷森貝塚

上村

磯鶏西

磯鶏石崎

磯鶏駅

磯鶏沖

文化会館

磯鶏小学校

磯鶏蝦夷森貝塚

上村

磯鶏西

磯鶏石崎

磯鶏駅

磯鶏沖

文化会館

磯鶏小学校

磯鶏蝦夷森貝塚

上村

磯鶏西

磯鶏石崎

磯鶏駅

磯鶏沖

文化会館

磯鶏小学校

磯鶏蝦夷森貝塚

上村

磯鶏西

磯鶏石崎

磯鶏駅

磯鶏沖

文化会館

磯鶏小学校

磯鶏蝦夷森貝塚

上村

磯鶏西

磯鶏石崎

磯鶏駅

磯鶏沖

文化会館

磯鶏小学校

磯鶏蝦夷森貝塚

上村

磯鶏西

磯鶏石崎

磯鶏駅

磯鶏沖

文化会館

磯鶏小学校

磯鶏蝦夷森貝塚

上村

磯鶏西

磯鶏石崎

磯鶏駅

磯鶏沖

文化会館

磯鶏小学校

磯鶏蝦夷森貝塚

上村

磯鶏西

磯鶏石崎

磯鶏駅

磯鶏沖

文化会館

磯鶏小学校

磯鶏蝦夷森貝塚

上村

磯鶏西

磯鶏石崎

磯鶏駅

磯鶏沖

文化会館

磯鶏小学校

磯鶏蝦夷森貝塚

上村

磯鶏西

磯鶏石崎

磯鶏駅

磯鶏沖

文化会館

磯鶏小学校

磯鶏蝦夷森貝塚

上村

磯鶏西

磯鶏石崎

磯鶏駅

磯鶏沖

文化会館

磯鶏小学校

磯鶏蝦夷森貝塚

上村

磯鶏西

磯鶏石崎

磯鶏駅

磯鶏沖

文化会館

磯鶏小学校

磯鶏蝦夷森貝塚

上村

磯鶏西

磯鶏石崎

磯鶏駅

磯鶏沖

文化会館

磯鶏小学校

磯鶏蝦夷森貝塚

上村

磯鶏西

磯鶏石崎

磯鶏駅

磯鶏沖

文化会館

磯鶏小学校

磯鶏蝦夷森貝塚

上村

磯鶏西

磯鶏石崎

磯鶏駅

磯鶏沖

文化会館

磯鶏小学校

磯鶏蝦夷森貝塚

上村

磯鶏西

磯鶏石崎

磯鶏駅

磯鶏沖

文化会館

磯鶏小学校

磯鶏蝦夷森貝塚

上村

磯鶏西

磯鶏石崎

磯鶏駅

磯鶏沖

文化会館

磯鶏小学校

磯鶏蝦夷森貝塚

上村

磯鶏西

磯鶏石崎

磯鶏駅

磯鶏沖

文化会館

磯鶏小学校

磯鶏蝦夷森貝塚

上村

磯鶏西

磯鶏石崎

磯鶏駅

磯鶏沖

文化会館

磯鶏小学校

磯鶏蝦夷森貝塚

上村

磯鶏西

磯鶏石崎

磯鶏駅

磯鶏沖

文化会館

磯鶏小学校

磯鶏蝦夷森貝塚

上村

磯鶏西

磯鶏石崎

磯鶏駅

磯鶏沖

文化会館

磯鶏小学校

磯鶏蝦夷森貝塚

上村

磯鶏西

磯鶏石崎

磯鶏駅

磯鶏沖

文化会館

磯鶏小学校

磯鶏蝦夷森貝塚

上村

磯鶏西

磯鶏石崎

磯鶏駅

磯鶏沖

文化会館

磯鶏小学校

磯鶏蝦夷森貝塚

上村

磯鶏西

磯鶏石崎

磯鶏駅

磯鶏沖

文化会館

磯鶏小学校

磯鶏蝦夷森貝塚

上村

磯鶏西

磯鶏石崎

磯鶏駅

磯鶏沖

文化会館

磯鶏小学校

磯鶏蝦夷森貝塚

上村

磯鶏西

磯鶏石崎

磯鶏駅

磯鶏沖

文化会館

磯鶏小学校

磯鶏蝦夷森貝塚

上村

磯鶏西

磯鶏石崎

磯鶏駅

磯鶏沖

文化会館

磯鶏小学校

磯鶏蝦夷森貝塚

（1）有形文化財

有形文化財は県指定6件、市指定48件、国登録4件の合計58件があります。そのうち、建造物は市指定3件、国登録4件です。また、美術工芸品は県指定6件、市指定45件で、その内訳は絵画1件（市指定）、彫刻12件（県指定2件、市指定9件）、工芸品は13件（市指定）、古文書は1件（市指定）、考古資料は4件（県指定2件、市指定2件）、歴史資料は21件（県指定2件、市指定19件）となっています。

建造物の市指定には「黒森神社本殿」「小山田薬師堂^{ずし}厨子」「寺院大圓寺^{だいえんじ}」があり、国登録には「盛合家住宅主屋^{しゅおく}」、「旧東屋酒造店店舗兼主屋^{かいせんどんや}」、「旧東屋酒造店酒蔵^{しゅおく}」、「旧東屋酒造店質蔵^{しゅおく}」があります。「盛合家住宅主屋」は、三陸海岸において廻船問屋を中心に酒屋・質屋によって隆盛をなした上流商家の代表的な存在である盛合家（屋号：若狭屋）の主屋で、広大な敷地には米蔵・味噌蔵・文庫蔵・離れ（書院）・稲荷神社が配置され、巨大な酒蔵も残されていました。「旧東屋酒造店」は、江戸時代後期の1824（文政7）年に酒造業を創業し、宮古町とともに繁栄した上流商家「東屋」の建築で、大店にふさわしい風格ある外観を有しています。盛岡藩の町家の間取りを持ちながらも洋風の照明やガラス窓など明治期の特徴を持っています。



市指定「寺院大圓寺」



国登録「盛合家住宅主屋」

美術工芸品の彫刻は、県指定の「獅子頭^{ししがしら}」「木造虚空蔵菩薩坐像^{もくぞうこくぞうぼさつざ}」があり、「獅子頭」は国指定重要無形民俗文化財「黒森神楽」で使用するもので、南北朝時代初期及び1485（文明17）年から1894（明治27）年銘の合わせて16頭が指定されています。市指定では神社や寺院に伝わる「阿弥陀如来像^{あみだのん}」「延命地蔵^{えんめいじ}」「聖観音像^{しょうくわん}」「聖観世音菩薩立像^{しょうくわんぜおんぼさつりつぞう}」「釈迦三尊像^{じやくあん}」「毘沙門天像^{びさもんてん}」「常安寺本堂欄間彫刻^{じょうあんじ}」のほか、個人宅に伝わる「大日如来像^{だいにち}」「役の行者^{やくのぎやう}・二鬼像^{にきぞう}」があります。



国登録「旧東屋酒造店店舗兼主屋」

工芸品は市指定13件があり、「鰐口^{おにぐち}」のほか「十八間星兜鉢^{じゅうはちけんほしかぶとばち}」のような中世の資料、「銅梅花双鳥鏡^{どうばいかそうちようきやう}」などの古鏡資料、「懸仏^{かけぼつ}」資料が指定されています。

古文書では市指定の「黒森神社普請古文書^{ふしん}」があり、1849（嘉永2）年から1850（嘉永3）年にかけて再建された黒森神社本殿の記録が残されています。

考古資料は、県指定では「鉄鉢^{てつぱち}」「長根古墳群出土品^{じやうこん}」があり、「鉄鉢」は黒森神社が所蔵していたとされています。市指定では「蕨手刀^{せくし}」「パレオパラドキシアの束歯の化石^{せくし}」が指定されています。



市指定「阿弥陀如来像」

歴史資料は、県指定では「雲龍文透し地組九條袷^{うんりゅうもんすかしじろくじゅうけさき}」「漁具類聚^{ぎょぐるいじゅう}」が指定されています。「雲龍文透し地組九條袷」は「大圓寺」の月泉和尚着用の寺宝とされ、現在は盛岡市の久昌寺で保管されています。

漁法や漁具について明治時代に書かれた「漁具類聚」は県立宮古水産高校で保管されています。市指定では、江戸時代の道路開削で知られる牧庵鞭牛関係の石碑や関係資料である「鞭牛碑群」「牧庵鞭牛新道供養碑」「牧庵鞭牛道供養碑」「牧庵鞭牛道路開削工具」「鞭牛使用の大般若経」「湯本開山牌」「巖の道供養碑」「老木の道供養碑」「岡村岩屋の道供養碑」「鞭牛道供養碑」が指定されています。この他、市内での最も年代の古い石碑である1340（暦応3）年の「^{りやく おう}暦応の碑」や1933（昭和8）年に撮影された「昭和三陸地震津波写真乾板」など多様な物件が指定されています。



県指定「漁具類聚」



市指定「暦応の碑」

（2）民俗文化財

民俗文化財は国指定2件、県指定1件、市指定32件の合計35件が指定されています。そのうち、無形の民俗文化財は32件（国指定1件、県指定1件、市指定30件）、有形の民俗文化財は3件（国指定1件、市指定2件）です。

国指定重要有形民俗文化財「北上山地川井村の山村生産用具コレクション」は総数1,345点の民俗資料でその一部を展示しています。国指定重要無形民俗文化財「黒森神楽」は、黒森神社を本拠地として「^{ごん げん きま}権現様」（獅子頭）を携えて「^{じゅんぎやう}巡行」と称し沿岸部を廻り歩きます。広範囲に長期にわたって巡行する神楽は全国的にも類例がなく、貴重な習俗が現在でも継承されています。2020（令和2）年11月に県指定となった無形民俗文化財の「田代念佛剣舞」は、区界地区に所在する民俗芸能で、主に盆供養として行われており、回向（供養）を目的とした儀礼的な「^{み はかおどり}御墓踊」や「^{けん ばい}剣舞」があります。市指定無形民俗文化財は、各地域に残る民俗芸能が30件指定されています。2022（令和4）年2月には「^{なん ぶ こ びきうた}南部木挽唄」が指定され、毎年開催される南部木挽唄全国大会とともに今後の継承が期待されています。市指定有形民俗文化財には「^{ゆ だて がま}小山田薬師堂湯点釜」「^{かん どう しき}貫頭式おしらさま木像」があり、本市の特徴的な習俗を表す貴重な文化財といえます。



国指定「北上山地川井村の山村生産用具コレクション」



国指定「黒森神楽」

（3）記念物

記念物は国指定7件、県指定5件、市指定21件、国登録1件の合計34件があります。その内訳は史跡14件（国指定1件、県指定1件、市指定12件）、名勝3件（国指定1件、県指定1件、国登録1件）、特別天然記念物1件、天然記念物16件（国指定4件、県指定3件、市指定9件）となっています。

国指定史跡「崎山貝塚」は、縄文時代前期から後期にかけての貝塚と集落の遺跡で、釣り針などの骨角器が出土しています。県指定の「^{いつ せき いち じ きやうづか}一石一字経塚」は1376（永和2）年と刻字され、全国的

にみても年代の古いものです。市指定では縄文遺跡である「腹帯配石遺構群」「磯鶏蝦夷森貝塚」や中世城館の「根城館跡」「大梵天館跡」、江戸時代の「筆塚」「十三仏と岩屋」「早坂の一里塚」等、そして、幕末の「官軍勇士の墓」「官軍小西周右衛門の墓」など年代也多岐にわたります。

名勝であり本市を代表する観光地でもある「浄土ヶ浜」は、海に突き出た半島部分は国指定、その周辺は県指定範囲となっています。灰白色の流紋岩と緑色を織りなすアカマツ林が澄んだ海の色に映える繊細にして豪壮な景観を見ることができます。

国登録記念物の「盛合氏庭園」は盛合家住宅主屋の南に面した池泉庭園で、1797（寛政9）年の藩主南部利敬による領内巡視に際し、居宅が宿所として使用されたのを契機に改修され、完成したものです。池泉は石組で護岸され、中央には岩島を擁します。18世紀末期から19世紀にかけての当地に伝わった庭園文化を知る上で意義深い事例とされています。

特別天然記念物である「早池峰山及び薬師岳の高山帯・森林植物群落」ではハヤチネウスユキソウ等の希少植物がみられます。隣接して国指定の「早池峰山のアカエゾマツ自生南限地」の分布がみられます。「日出島クロコシジロウミツバメ繁殖地」は北半球で数少ないクロコシジロウミツバメの営巣地となっています。「崎山の潮吹穴」「崎山の蠟燭岩」は観光スポットとして知られていますが、地質学的にも貴重な天然記念物でもあります。田老地域のシンボリック存在でもある「三王岩」は1億2千万年前の宮古層群の地層でできており、男岩・女岩・太鼓岩で構成されています。「田鎖神社のブナ・イヌブナ林」はブナとイヌブナの全国的にも珍しい混合林とされ、神社境内のために伐採を免れた自然林となっています。市指定の「チョウセンアカシジミ」は環境省レッドデータブックで絶滅危惧種Ⅱ類とされ、市教育委員会や小学校による保護活動が行われています。植物としては、「公孫樹」「こぶしの木」「檜内の駒止桜」「白山神社の檜の木」「赤松の巨木」「ブナの巨木」「メタセコイア」が市指定となっています。県指定「三王岩」と同じく宮古層群の地層がみられる市指定の「撰待大島」では多数の化石が産出されます。

この他、地域を定めずに指定されている国の特別天然記念物である「カモシカ」も市内の全域で生息が確認されています。また、国指定天然記念物である「イヌワシ」の営巣情報も近年寄せられています。



県指定「一石一字経塚」



国・県指定「浄土ヶ浜」



国登録「盛合氏庭園」



国指定「日出島クロコシジロウミツバメ繁殖地」



国指定 特別天然記念物「カモシカ」



市指定「公孫樹」



市指定「こぶしの木」



市指定「摂待大島」

2 埋蔵文化財

本市の埋蔵文化財包蔵地は、663 箇所（2023（令和5）年現在）となっています。遺跡分布調査は1982（昭和57）年度から旧宮古市（宮古地域）で実施され、その成果は『宮古市遺跡分布図』として刊行されています。

さらに2005（平成17）年の合併後、2006（平成18）年度から2010（平成22）年度の5か年をかけ田老地域・新里地域を対象とした分布調査を実施しています。現在は、2021（令和3）年度から5か年計画で川井地域を対象とした分布調査を実施しています。

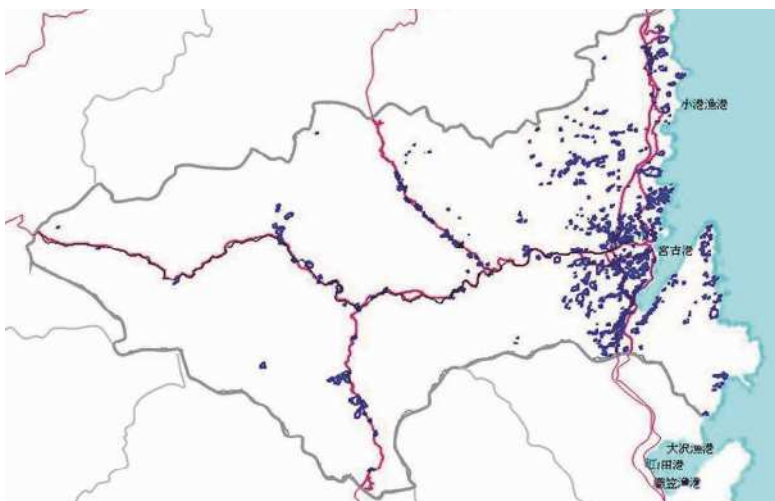


図3-3 埋蔵文化財包蔵地分布図(青枠が包蔵地、岩手県遺跡地図より) 大規模な復興発掘調査(津軽石大森遺跡)

埋蔵文化財包蔵地においては、道路建設や住宅建築に伴い、年間5件から10件の発掘調査（試掘・本調査）が行われています。開発の原因により調査主体は分担され、国・県事業については岩手県教育委員会（(公財)岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センターに委託）、市事業及び個人住宅関係は宮古市教育委員会で行っています。

なかでも2011（平成23）年3月の東日本大震災からの復興事業に伴う「復興発掘調査」では、市内において20遺跡24箇所の発掘調査が実施され、膨大な考古資料が蓄積されています。震災後10年が経過した2020（令和2）年度に全ての発掘調査事業が終了し、津軽石大森遺跡で出土した青銅製錘などの新たな発見や知見は、市内のみならず岩手県沿岸部の歴史の解明に寄与するものです。

3 未指定文化財

(1) 未指定文化財の概要

これまでの調査や文献により把握された宮古市の未指定文化財は、3,593件、45,936点であり、地域（旧市町村）ごとに表3-2にまとめました。2005（平成17）年の市町村合併前に文化財の担当職員が配置されていた宮古地域と川井地域で、よく把握されている結果となりました。本計画の独自の類型として、昔話・伝説と地域の宝も対象としました（第1章4文化財の定義と地域の宝）。特に、古文書と歴史資料に含まれる石碑、有形の民俗文化財（民具）がよく把握されています。古文書は市町村史刊行に取り組んでいた田老地域と宮古地域で家ごとに把握しています。本市では市町村合併後も継続して石碑調査に取り組み、田老地域の石碑が323基、宮古地域1,332基、新里地域505基、川井地域833基を把握しています。有形の民俗文化財は国指定「北上山地川井村の山村生産用具コレクション」以外に生活や信仰に関する未指定の民具を10,720点所蔵しています。

表3-2 未指定文化財・地域資産の件数

類型	地域(旧市町村)	田老地域	宮古地域	新里地域	川井地域	合 計
有形文化財	建造物	2(2)	1(1)	1(1)	8(8)	12(12)
	美術工芸品					
	絵画	0(0)	3(3)	1(1)	0(0)	4(4)
	彫刻	0(0)	2(3)	0(0)	1(1)	3(4)
	工芸品	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
	書跡・典籍	0(0)	3(3)	0(0)	0(0)	3(3)
	古文書	24(1,065)	13(27,471)	3(1,727)	11(445)	51(30,708)
	考古資料	3(3)	38(159)	0(0)	0(0)	41(162)
	歴史資料	331(603)	1,347(1,359)	505(505)	835(835)	3,018(3,302)
		0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
民俗文化財	有形の民俗文化財	1(1,400)	1(2,200)	1(150)	2(6,970)	5(10,720)
	無形の民俗文化財	3(3)	14(14)	1(1)	29(29)	47(47)
記念物	遺跡	7(7)	55(55)	12(12)	17(17)	91(91)
	名勝地	1(1)	13(13)	6(6)	10(10)	30(30)
	動物・植物・地質鉱物	2(2)	10(575)	1(1)	39(39)	52(617)
文化的景観		0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
伝統的建造物群		0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
地域資産(伝説・昔話)		41(41)	68(68)	13(13)	87(87)	209(209)
地域資産(その他)		2(2)	11(11)	2(2)	12(12)	27(27)
合 計		417 (3,129)	1,579 (31,935)	546 (2,419)	1,051 (8,453)	3,593 (45,936)

（２）未指定文化財の特徴

建造物

建造物は、川井地域に修験者の行屋が5軒残されており、屋内にも仏像や早池峰山信仰に関する資料が保存されています。津波遺構たろう観光ホテル、田老防潮堤には、観光や防災学習に多くの人が訪れています。



行屋の祭壇

絵画

「宮古港海戦の図」は、戊辰戦争の宮古港海戦で旧幕府軍の軍艦甲鉄が、新政府軍の軍艦回天に接舷する様子を描いています。本市重茂出身で岩手県でも高名な画家・彫刻家である吉川保正が描いた「鞭牛和尚」は、力強く荒々しいイメージで描かれています。



吉川保正作「鞭牛和尚」

彫刻

権現様は、地域の信仰を支えた修験者が守護神として祀った獅子頭です。花輪地区の華森神社には第四代盛岡藩主となった南部重信が、幼少期に遊んだとされる権現様があります。田代地区の権現様を祀る館八幡宮は、田代館に所在し、地域の歴史を物語る資料です。

書跡

「盛合家住宅主屋」の襖や屏風、掛軸にすぐれた作品が残されています。江戸時代後期の書家、亀田鵬斎の書が襖に仕立てられています。

古文書

それぞれの旧市町村で収集した古文書を、市史編さん室で保管しています。田老地域の乙部村肝入文書、沢田神林家文書、宮古御水主文書は、村や代官所の記録として重要です。商家の古文書では、津軽石盛合家・磯鶏蔵屋・磯鶏森田家・本町幾久屋などで、江戸時代の漁業と交易による繁栄が読み取れます。本町東屋文書は、現在も保存・整理作業を継続しています。

考古資料

田老地域の桧内Ⅰ遺跡で、土器・石器がまとまって出土しています。宮古地域の近内中村遺跡出土のイノシシ形土製品、ヒスイ製品、巻貝形土器など、縄文時代の信仰を物語る貴重な遺物が含まれています。

歴史資料（石碑）

西国順礼塔をはじめとする信仰に関するもの、山の神や馬頭観音など山仕事や馬といった生活に関するもの、津波に関する石碑など、市内全域で2,993基を確認しています。東日本大震災後にも被害や教訓を伝える記念碑が建立されています。

有形の民俗文化財

国指定重要有形民俗文化財「北上山地川井村の山村生産用具コレクション」に含まれない生活用具や旧宮古市・旧田老町で収集された民具が、北上山地民俗資料館小国分館で保管されていま



津波の教訓を伝える記念碑

す。早池峰山麓の豊富な木材を活かした「小国膳」は外側が黒、内側が朱塗りで猫足が特徴です。漆の製剤から塗りまでの工程が家内工業で行われ、沿岸部へ行商に行きました。

無形の民俗文化財

郷土料理は、地域の生業や信仰と密接に関わる重要な習俗です。田老地域の八杯汁（豆腐汁）、田代地区のヒュウズ団子など地域独特の料理もあります。小正月のミズキ団子、端午のまき、盆の小豆ぱっとうなど年中行事の御馳走があります。大黒様には豆腐田楽、農神様には十六団子、山の神にはシトギを供えます。日常食では、麦・粟・稗・蕎麦の雑穀料理、閉伊川でとれたアユの料理などがあります。

遺跡

田老摂待地区と小国地区道又に一里塚が残されています。小規模ですが、石を積んで塚を築き、頂部に石碑が設置されています。一里塚は、度重なる道路拡張などで滅失したものが多く、かつての街道を裏付ける貴重な遺跡です。

大正時代に稼働した水力発電所跡が、田代地区に2箇所、新里地域刈屋地区に1箇所あり、近年の自然再生可能エネルギー推進の観点から注目されています。

神社は、地域の由来や伝説などを伝える神社をはじめ、村を守護し繁栄を祈る地域文化の核として守り伝えられています。

名勝地

田代地区の八瀬ノ滝、刈屋地区の倉の沢大滝、小国地区の曾呂滝など、地元住民でもあまり訪れない自然の名所が数多く存在します。和井内の堺ノ神岳は、山頂から大パノラマが広がります。

植物

川井地域では「かわい木の博物館」として、テーマを設定した森17箇所と巨木・名木など保存木を12件指定し、見学や学習に対応しています。

地質鉱物

蛸の浜の宮古層群の露頭、日出島海岸の宮古層群の化石露頭、腹帯の混在岩、薬師川溪流の古生界が、三陸ジオパークのジオサイトになっています。崎山貝塚縄文の森ミュージアムでも宮古層群の化石を保管しています。夏屋砥石は、夏屋川流域で手掘り採掘され、広く地元で使用されたほか、昭和30年代には「朝日虎印なつや砥」の名で流通しました。



道又の一里塚



田代細越の水力発電所跡



八瀬ノ滝

4 地域資産

(1) 地域資産の概要

文化財の6類型には当てはまらない昔話・伝説、生業・産業、地名などは、地域の暮らしと密接に関係し、地域の特徴を表す重要な要素となっています。本計画では、これら指定等文化財、未指定文化財以外の要素を独自の類型として「地域資産」とします。特に昔話・伝説は、旧市町村それぞれで刊行物としてまとめられており、地域資産を「昔話・伝説」と「その他」と分類して取り上げます。

(2) 地域資産の特徴

昔話・伝説

小国地区が舞台である遠野物語のマヨイガをはじめ、川井地域に多く残されています。始まりに「むかし、…あったとさ」、最後に「どっとはらい」などと言う、語りの形式があります。田老地域と新里地域では、語りの形式になっていませんが、冊子にまとめられています。現在では、昔話などの語り部は見られなくなりました。

その他

地名や交通では、交通の要衝となった田代地区に中北通街道の雄又峠、山姥伝説がある念仏峠、梨の木平の四つ辻などがあります。刈屋地区から門馬地区へ通じる宮古新道、早池峰山への参詣に通った旧登山道などが記録されています。滅失した名勝地や遺跡には、宮古代官所跡、宮古と鉾ヶ崎を結んだ光岸地切通し、宮古港を一望した名勝地「鏡岩」、江戸時代開発された小国堰などがあります。人物に関するものでは、江戸時代に街道改修に取り組んだ「牧庵鞭牛和尚生誕の地」、大正時代のヒット曲「籠の鳥」作曲者である「鳥取春陽の生家」、昭和三陸地震津波後に防潮堤の建設に着手した「関口松太郎像」が市民に知られています。

(3) 聞き取り調査「地域の宝さがし」

本計画の作成にあたり、2021（令和3）年から2023（令和5）年にかけて市内を15地区に分け、それぞれの地区の特徴を抽出する「地域の宝さがし」聞き取り調査を実施しました。この15地区の設定については、1889（明治22）年の合併による旧町村単位（図2-10参照）とし、調査に際しては、地域振興協議会や地域づくり委員会、地元の有識者など5人程度に聞き取りを行う調査方法で実施しました。



聞き取り調査(津軽石地区)

聞き取り調査「地域の宝さがし」の結果は、表3-3にまとめ、「第7章 関連文化財群の設定」及び「第8章 文化財保存活用区域の設定」において、地域資産として反映させています。また、地域計画作成の関連事業として実施した公開講座「みやこの宝を発見！」（全5回）（資料編1実施体制と経過参照）においても歴史文化に関するアンケート調査（資料編6歴史文化に関するアンケート結果参照）を行い、本計画に反映させています。

聞き取り調査の結果、自身の経験や記憶に基づいた景色や滝などの自然、閉伊川のアユや郷土料理など民俗に関する話を多く話していただきました。地域に残したい宝として、地元の民俗芸能と史跡、失われた景色も含めた自然・名勝地、かつての「結」といった絆や共同意識といった傾向がみられました。

表3-3 聞き取り調査「地域の宝さがし」まとめ

	地 区
■自然に関するもの（名勝地・動植物）	
真崎灯台からの景色、佐賀部、昔の砂浜（ワカメ干し）、オジロワシ、チョウセンアカシジミ	田 老
八瀬ノ滝、馬場の滝、機織滝、カマ淵（佐羽根）、チョウセンアカシジミ、亀ヶ森の一本桜、久昌寺の杉	田 代
千徳城からの眺望	千 徳
東金沢山からの眺望、田鎖5地割の三角点、ミズナシの洞穴（長沢）、旧家の榎木・伽羅	花 輪
夏保峠、浄土ヶ浜、蛸の浜、臼木山、七滝、浄土ヶ浜大橋からの眺望、砂島、鏡岩（漁協ビル）・北部環状線からの早池峰山、竜神崎からの景色、月山にのぼる満月、金精様の櫓、クロコシジロウミツバメ、シノリガモ・ウミアイサ・ウミネコ（鳥類）、臼木山のカタクリの群生	鯉ヶ崎
山口川、宮古第一中学校の公孫樹、宮古小学校のポプラ	宮 古
磯鶏松原、煙突山、八木沢川のトゲウオ・フナ・ウナギ・ウグイ	磯 鶏
高麗松（赤前）、川菜（クレソン）	津軽石
鮎ヶ崎灯台の景色、団子岩（立浜漁港）、窓明島（音部漁港）、うさぎ耳島（姉吉）、月山（御殿山）からの眺望、十二神山のケヤキ（倒れた）、音部大神宮の杉、石浜神社の杉	重 茂
長松の滝（安庭）、倉の沢大滝（刈屋）、茂市テレビ中継所からの眺望、閉伊川のアユ	新 里
繋の湧水	川 井
兜明神岳、ベニヤマザクラの大木、ハナヒョウタンボク、去石岩（去石の石）	門 馬
熊穴（洞窟）、曾呂滝、クロビイタヤ群落地、サワラの巨木	小 国
■歴史文化に関するもの（寺院・神社・遺跡など）	
小沼神社（摂持）、熊野神社（荒谷）、日枝神社（大平）、出羽神社（青砂里）、熊野神社・春日神社（末前）、加茂神社（明神崎）、三日月神社（三王岩）、和野（遺跡）、越田の貝塚、水沢のメノウ	田 老
峠の神、亀岳山大明神、七年ケカズ（飢饉）	田 代
若宮神社（大沢）、崎山神社、塚場（下在家の石碑群）	崎 山
八幡宮の奉納相撲、長根寺御玉尊の祭り、千徳と津軽石の戦	千 徳
田鎖神社（老木明神、原敬筆神額）、大谷地の沢（鉄滓）、松山神社、華厳院、中野酒造店、恩賜の郷倉	花 輪
大杉神社、宮古港海戦戦蹟碑、鴨墳の碑、織部灯籠、暦応の碑、オクマン様（熊野神社）の曳き船、御不動様、金精様、竜神様、菱屋の稲荷様、念仏供養塔、南無阿弥陀仏碑、早池峰山の石碑（心公院）	鯉ヶ崎
横山八幡宮の祭り、判官稲荷神社、お神明様（横町）、天神様（常安寺）、中屋商店の蔵、すずらん灯	宮 古
稲荷神社（神林）の秋祭り	磯 鶏
東林寺（赤前）、法の脇御前堂（海の境界）、愛宕神社、三日月神社、諏訪神社、恵比寿神社（七恵比寿）、熊野神社（法の脇）、高平館（鉄鍋と人骨、神社、供養塔、公孫樹、経塚）、朴の木館（弘川館、諏訪神社、古井戸）、沼里館（オシンザンサマ・オミダキサマ）、藤畑遺跡	津軽石
黒崎神社、漁港に弁天様・竜神様・恵比寿様、川代の館ヶ崎（館跡）、音部に平場（寺）	重 茂
熊野神社（茂市）、加茂神社・八坂神社・加茂神社・愛宕神社（墓目）、八幡神社（和井内）、八幡神社（腹帯館）、高昌院・御神山権現・薬師神社・川崎神社・倉の沢山神社・不動神社（刈屋）、昔亀ヶ森で博打、水力発電所跡地（刈屋）、江戸時代の白鬚洪水など水害が多かった（茂市）	新 里
川井八幡様の奉納相撲、お蒼前様、火の神様、川井小学校（遺跡）、古田の風穴	川 井
兜神社（区界、馬の神様）、産土様（平津戸）、山祇神社（田代）、早池峰神社（門馬）	門 馬
加茂神社・島田稲荷（末角）、秋葉神社・愛宕神社（永田）、駒形神社、早池峰新山神社（湯沢）、古峰神社（大仁田）、大梵天跡跡、横穴住居（湯沢）	小 国
■民俗に関するもの（行事・遊び・昔話・伝説など）	
大漁まつりの曳き船、町民運動会、松明かしと花火	田 老
ナモミ、松明かし、川あそび、山姥伝説、オガミ淵、義経北行伝説（峠の神山）、イタコ落し	田 代
ナゴミ、盆踊り、虫祭り（秋）、二十六夜様	崎 山
年縄づくり、ナゴミ、松明かし、念仏、ズグリ（こま）、凧揚げ、千徳と津軽石の戦	千 徳
女相撲（花輪）、カンセイ（組長の引継ぎ）、狐の嫁入り、長沢の赤いカップ、髪長姫、田村麻呂伝説	花 輪

六夜様、コーロコーロ、釘さし、ビー玉、釣り、海水浴、わらべ唄、大漁節、チャンバラ、戦争ごっこ、弓矢、パチンコ	鍬ヶ崎
松明かしと花火、ミズキ団子、商店街の七夕（昭和30年代）、フライ旗祭り、宮古水産高校の仮装行列、正月の絵飾り、歌謡ショー、山口川で川遊び、長靴のスケート、宮古小学校に沼があり幽霊	宮古
磯鶏沖上げ、黒森神楽の宿、越田山で鉄砲遊び、チャンバラ、タスケ（鬼ごっこ）	磯鶏
ナゴミサマ、又兵衛伝説	津軽石
新造船の進水式で漁港を3回回る、正月の飾り（松・笹・杉）、小正月の成木ぜめ、女の年取り（1/14厄払い）、ナモリ、念仏、百万遍、カマッコ焼き、オビヤ（赤不浄）の忌み・精進、松明かしと花火、落ち武者伝説（十二神山の麓）	重茂
虫追い（小正月）、ミズキ団子、オシラサマ、松明かしと花火、百万遍、アユの塩焼き・粕漬け、ヌッペ（豆腐汁）、けんちん汁、きび団子、スツギ、小豆バットウ、川遊び、ウナギ獲り、バッタ（めんこ）、竹スキー、ガイセン、ビー玉、つき鉄砲、水鉄砲	新里
宮古～平津戸間の駅伝、ミズキ団子、松明かしと花火、川井郷土芸能祭、地区運動会、むつわ祭り（バザー・劇）、盆踊り、念仏、豆腐の煮しめ	川井
梁川にあった寺（盛岡永泉寺の分家）の檀家で盛岡と交流	門馬
大圓寺の万灯会、六夜様（白見山）、オシラサマ、カップバ淵、マヨイガ、蝦夷淵、鞍掛沢	小国
■交通・地名に関するもの	
梨の木平の四つ辻、念仏峠（佐羽根）、タンドが沢（アイヌ語）	田代
ラサの索道跡（女遊戸）、猿峠、ヘンベエ坂（箱石）、一の渡り（街道）	崎山
泉徳、ふんでら（古寺）、御荷越え、町の道幅が広い（防火）	千徳
花輪橋、マジダ（馬木戸）、アミド（海人）、カセンピラ（合戦平）	花輪
県道盛岡宮古港線元標、十分一沢、泣き坂	鍬ヶ崎
町割り石、八幡山、ノド山（裁判所）、片桁（中央通商店街）、高橋の交差点、館合の峠	宮古
陣屋崎、磯鶏の地名（カッサギ崎）、呼ばわり浜、高浜峠、船着き場、浮島	磯鶏
馬越の一里塚、山崎（赤前小学校の山側）、久保田山の六角堂、千野沢（ふ化場）、大杭野（大判川線路）、大路口（豊間根へ）、神楽平（牧場？）、シンジョウ畑、塚場（赤前小学校周辺）、五日市（大判川）、成仏ヶ森（耳を供養）	津軽石
各地に境の神（積み石）、しんなべ峠（大程）、桜峠（鶏磯）、寒風峠（川代～石浜）、おなご落し峠（姉吉）、新道供養碑（姉吉）、万歳山（館）	重茂
街道筋の旅館（川井2軒、江繋1軒）、十二曲り（川井）	川井
弥五郎沢（黒沢～盛岡・岩泉）、カネヤマさ行く（宮古新道）	門馬
中仁沢（中金沢）、躑躅峠、馬洗い淵、地藏淵	小国
■産業・郷土料理に関するもの	
けげだす工房（水車、豆腐田楽）、八杯汁（豆腐汁）、真崎わかめ、大鍋でつくる煮しめ	田老
北の又鉾山跡、水力発電所跡（馬場、細越）、ラサの索道跡（落合）、天然舞茸、松茸、ひゅうず団子	田代
養蚕、葉タバコ、酪農（箱石）、椎茸、鰯の塩漬け、メノコメシ、ヒエメシ、ムギメシ	崎山
閉伊川のウナギ、アユ、サケ、いぐり漁、アユの塩焼きと田楽、長芋・牛蒡・人参（根菜）	千徳
田鎖の馬（軍馬）、養蚕、葉タバコ、饅頭やひゅうず（小麦のおやつ）、豆スツギ	花輪
井戸と沢水（震災時の命の水）、銭湯（かつて5軒）、ラサの鉄索、日立浜の窯業（レンガ工場）、ウニ・アワビの口開け（解禁）、ヘラガニ（ワタリガニ）、菱屋酒造店、ホヤ、フノリ・マツボ・メカブ（海藻）、ドンコ、アイナメ、ヒツツミ（すいとん）、メノコメシ、スッケーコ（海藻）、シジメ昆布	鍬ヶ崎
サケのふ化場（小沢）、閉伊川のアユ売り、鍬ヶ崎のウニ売り、浄土ヶ浜の売店、イカ徳利、提灯屋、サンマ船、ひつつみ、小豆ぱっとう、雑煮のクルミ餅、豆スツギ、ひゅうず	宮古
鰯の地引網、アグリ網（鰯）、塩焚き、昆布工場、磯鶏ネギ、三井造船所、メノコメシ、煮しめ	磯鶏
赤前の水田は古い、弘川周辺は開田、新巻鮭、まんじゅう（塩味）、おはぎ、小屋	津軽石
カグラサン（船を陸に上げるとき棒をさして回した）、昔から主に水産業、アワビのカレーライス、ワカメ・昆布・ウニ・アワビ	重茂

養蚕、製糸場（刈屋）、桐材、炭焼き、大平製材所、木原造林（1942年頃の会社）、アユの塩焼き・田楽・粕漬け	新 里
アスンバラ（繁～川井の日草場）、牛のお競（箱石）、短角牛、松草に牧場、閉伊川のアユ・ヤマメ・マス、アユの築場（川井・褒岩）、アユの粕漬け、舞茸、松茸、椎茸、馬喰茸（コウダケ）、紫蘇ジュース、蕎麦、豆腐、シダミ団子、味噌、栃の実焼酎（薬）、大根かためし、小豆ばっとう、林業（営林署）、炭焼き	川 井
区界の桐材、桧・ヒバ材、ヒバの下駄・風呂桶、材木の木流し、炭焼き（田代～去石）、紫蘇、高原野菜（1960年～大根）、軍馬の補充地（区界）、短角牛、酪農（うまくいかなかった）、ダンコ（馬っこの商売）、金山（砕石場・大吹沢）、珪石、鉄索、製氷、水車の精米所（黒沢）	門 馬
小国堰、金山跡（立丸峠・長者森）、木椀、小国膳、豆腐、味噌、ハットウ（ひつつみ）、ソバキリ、どぶろく、マタギ（狐・イタチ・テン・兎）	小 国
■その他（人物・古老・民具・古文書など）	
久保利七（三陸フェーン大火当時の町長）、駒井雅三（校歌の作詞）、小林とき（食の匠）、三陸フェーン大火、集中豪雨（1959年、1975年）	田 老
上坂喜兵衛（黒森神楽の名人）、シンコク流（柔）、防空壕	田 代
寺井酉松（村長）、田代とう右衛門（三閉伊一揆）	崎 山
高橋寿太郎（海軍）、横田熊五郎（陸軍）、大森堅蔵（庭園）、アイオン台風の水害	千 徳
南部重信（花輪殿様）、内館元右衛門（長沢一揆）、大谷地の沢（鉄滓）、松山神社周辺（遺跡）	花 輪
大越作右衛門（巾着網）、大下源蔵、伊東佑治（作家）、加倉鉄五郎（スズキ釣りをアメリカへ教授）、道又医院、鉾ヶ崎館山貝塚（遺跡）、対鏡閣、浄土ヶ浜の防空壕、鉾ヶ崎小学校の幻灯機	鉾ヶ崎
駅前の引上げ者マーケット、アイオン台風の水害、火事のため蔵が多かった、復興市（震災は転機）、商店街の大神輿	宮 古
船越賢太郎（県会議員）、小林治三郎（市会議員）、佐藤勝郎（市会議員）、伊藤平五郎（分団長）	磯 鷄
赤前佐々木家に甲冑があった	津軽石
日蔭暢年（柔道）、前川健吉（レスリング）、吉川保正（彫刻）、西館利夫（神楽面）、アメリカ漂流者4名、明治・昭和の津波で蔵が流された、本州最東端の蛇口	重 茂
あすか病院・藤田歯科、病気で亡くなる人が多かった、国鉄の社宅、映画館（2軒）	川 井
■地域の宝（地域に残したい宝）	
田老防潮堤と学ぶ防災、防浪堤（昔の名称）、須賀（浜）、グリーンピア三陸みやこ	田 老
田代念佛剣舞と神楽、八瀬ノ滝	田 代
崎山貝塚、豊かな自然（森と海）	崎 山
千徳城	千 徳
花輪鹿子踊り、長沢剣舞、南川目さんさ踊り、牧庵鞭牛、黒雲雷八（力士）	花 輪
浄土ヶ浜、蛸の浜、鉾ヶ崎町の記憶	鉾ヶ崎
町割り石、小沢の腰かけ石、すずらん灯	宮 古
藤原海岸と磯鷄松原、蝦夷森貝塚、（宮古の宝は宮古湾と浄土ヶ浜）	磯 鷄
馬が多かった（五十集衆）、（宮古の宝は黒森神楽）	津軽石
海と人、音部神楽、重茂中学校の剣舞・鷄舞	重 茂
牧庵鞭牛、茂市鹿子踊、墓目鹿子踊、住民の絆、「結」の心	新 里
牛と人が共存、閉伊川のアユ	川 井
ヤマザクラの風景	門 馬
バツカリ広場、小国堤（堰）、田植えの共同作業（結）、講（伊勢参りなど）、ヤドコ（宿講、屋根替え）	小 国